

SILKYPIX Jpeg Photography 7 を使用した JPEG 現像基本調整

1. JPEG データを開く

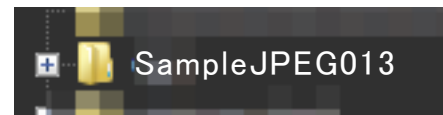


●フォルダーを開く

SILKYPIX はフォルダー単位で
JPEG データを開くことができます。



①フォルダツリーアイコンを
クリックしフォルダー一覧を表示
します。



②フォルダツリーからダウン
ロードした JPEG データの入った
フォルダーを選択すると開きます。

③表示モードを切り替える

サムネイル表示



フォルダーの中のデータを
縮小版で一覧表示します。

コンビネーション表示



縮小表示と拡大表示を同時
に表示します。

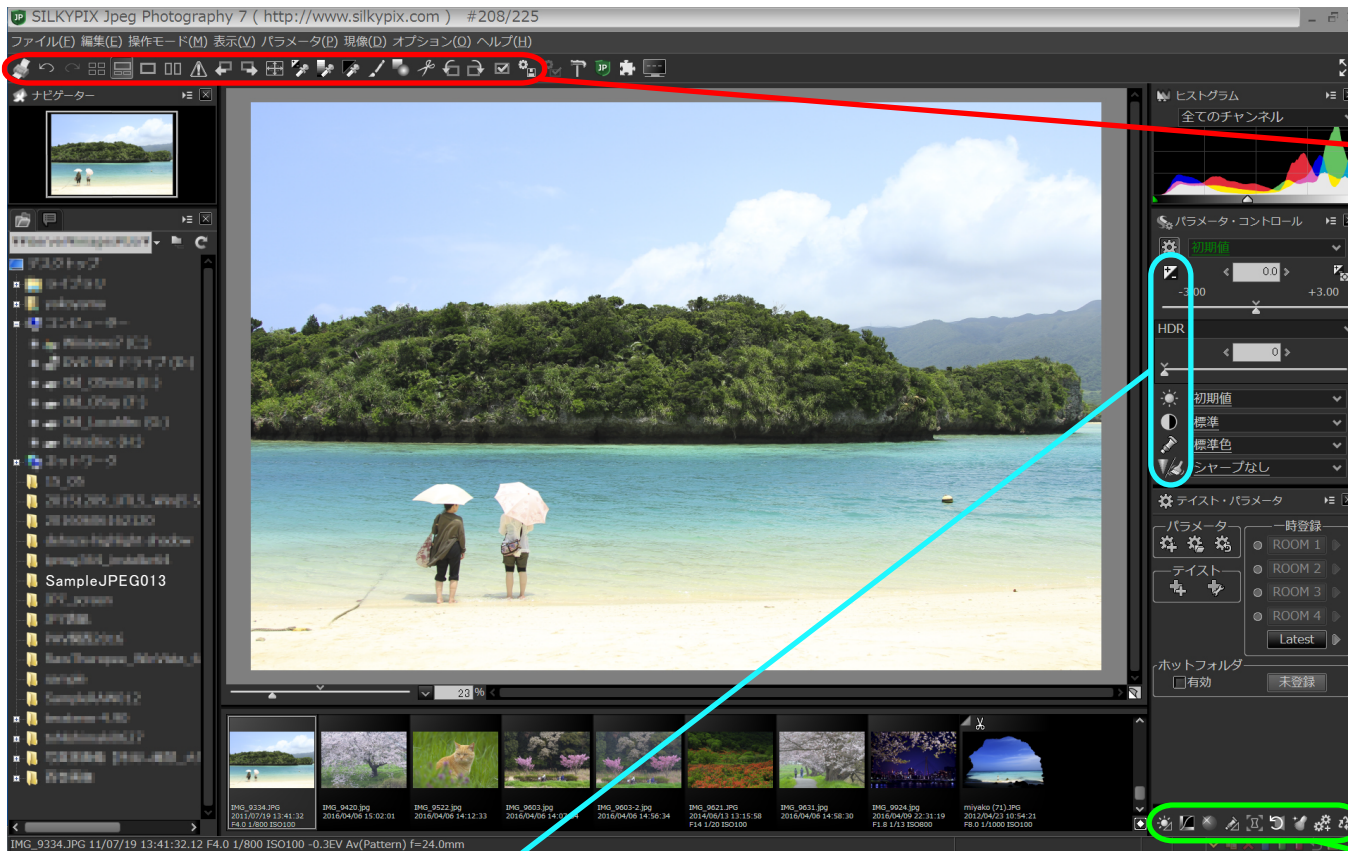
プレビュー表示



サムネイル表示で選択され
たコマを大きく表示します。

SILKYPIX Jpeg Photography 7 を使用した JPEG 現像基本調整

2. 画面構成



ツールバーでよく使う機能

- 印刷
- 画面表示切替
- ハイライト、シャドー警告など
- ゴミ取り
- 部分補正
- トリミング
- 90 度回転
- JPEG または TIFF に変換

メインコントロール

- 露出
明るさの調整
- ホワイトバランス
全体的な色合いの調整
- 調子
コントラストの調整
- カラー
鮮やかさの調整
- シャープ／NR
シャープネスと
ノイズリダクション

サブコントロール

- WB 微調整
色合いの微調整
- トーンカーブ
コントラストの調整
- ハイライトコントローラ
白とびした部分の調整
- ファインカラーコントローラ
特定の色ごとの調整
- レンズ収差補正
歪みや周辺減光の補正
- 回転／デジタルシフト
傾きや遠近感の補正
- 効果
美肌補正とノイズ付加
- 現像設定
AdobeRGB や sRGB の設定
- 編集履歴
任意の作業まで戻る。

JPEG 現像基本調整

3. メインコントロール

①

②



①カテゴリ選択アイコン

アイコンを選択すると③のタブページが切り替わります。

②テイスト

あらかじめ登録されている設定をメニューから選んで調整を行います。おおまかな調整をここでを行い③のスライダーで微調整できます。



③タブページ

①で選択したカテゴリの詳細な調整を行います。主に「スライダー」と呼ばれるコントロールでつまみを左右に動かして調整を行います。

●スライダーの初期値マーク



データを開いた時の値を示すマークとなります。最初の状態がわからなくなった時の目印になります。



JPEG 現像基本調整

サンプル JPEG データをダウンロードして実際に体験できます。

4. 調整前

データを開いたままの状態です。今回調整した項目はこちら。



①全体的に鮮やかにしたい

空の色が薄く真ん中の森が暗いので
もっと鮮やかにして南国のイメージに仕上げる。

②海に透明感を出す

このままでも色は出ているが
手前の部分が少し暗く感じるので
明るく透明感を出す。

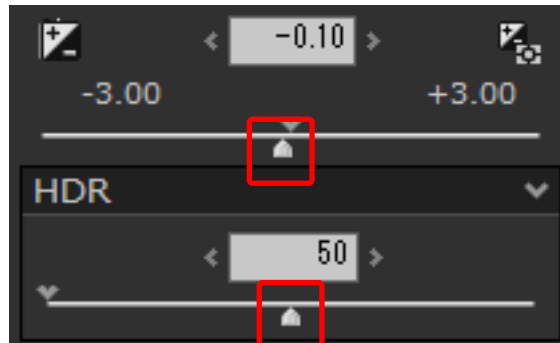
③不要物を消す

浮きやロープなどを消し
綺麗にする。

今回調整するのは、7月7日に発売した『SILKYPIX Jpeg Photography 7』のメインビジュアルで
使用したこの写真です。SILKYPIX の WEB サイトやカタログに使われているのですが、実はこれ
実際に JPEG データを SILKYPIX Jpeg Photography 7 を使用して仕上げております。
どのように変わっていくのか、皆さんもサンプルデータを使用してお試ください！

JPEG 現像基本調整

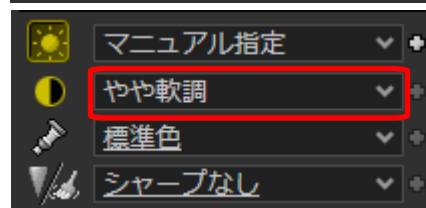
5. 基本調整から行います



露出：-0.1
HDR：50



色温度：5900
色偏差：8



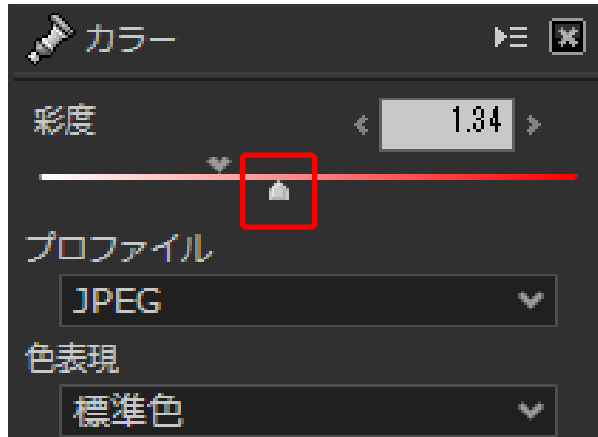
調子：やや軟調



今回の写真は空が明るい、真ん中の森が暗い、手前が明るい状態なので HDR を使用。ホワイトバランスで黄色っぽさも抑えました。これで下地ができました。

JPEG 現像基本調整

6. 下地ができたのでここから色調整を行う



彩度：1.34

ここで彩度を使用。
一番色の濃かった海に合わせて彩度を調整する。
空や森に合わせると、海が濃くなりすぎるのと
後で調整しづらい人物も黄色っぽくなってしまう。

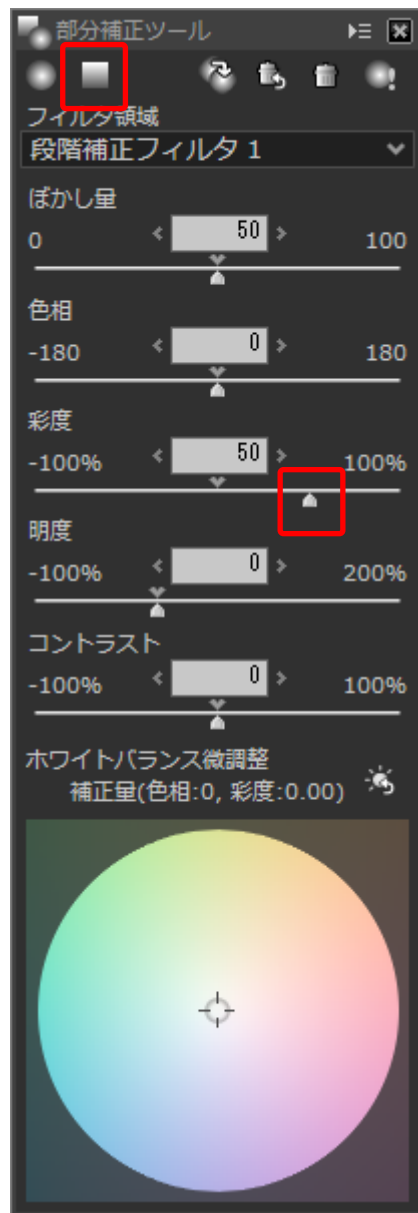


彩度の上げすぎには注意

彩度は鮮やかさを調整するのに使用します。しかし、被写体によっては彩度を高め過ぎると絵の具で塗ったようにべったりとした仕上がりとなり、階調感を損なう場合があるので、それに気を付けながら使用するのがおすすめです。

JPEG 現像基本調整

7. 空と森の調整をする（段階補正フィルタ）



調整範囲



水面と島の境目に合わせる

彩度：50

空と森に鮮やかさが戻った。



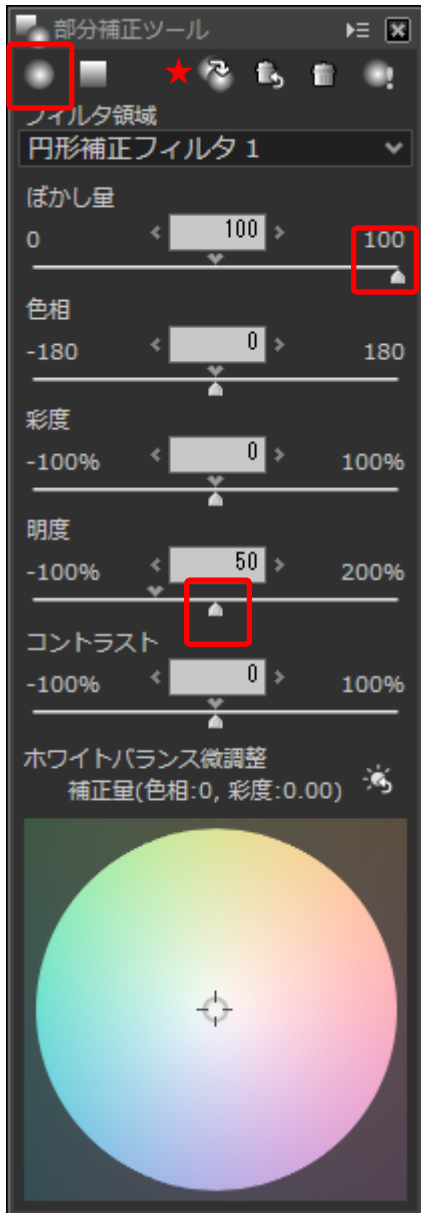
補正フィルタの明度

補正領域が解りやすくなるよう、初期設定では「明度 100」が設定されます。（明度変更なしは「0」）そのため、明るくなった部分が補正される範囲だとお考えください。

ここでは明るさを変えたくないなので、補正領域まで持って行った後に明度を 0 にしております。

JPEG 現像基本調整

8. 雲を白くする（円形補正フィルタ）



空の青さはイメージ通りになったが
雲にも色がのってきてしまうので
部分補正で雲を白く調整する。

ぼかし量：100
明度：50

雲の形に合わせて複数使用しました。

★の「選択フィルタの複製」を押すと
1 回作ったフィルタの数値のままで
新しいフィルタを複製できますので
調整箇所が複数ある時には便利です。

調整範囲



※赤丸は実際には表示されません。



JPEG 現像基本調整

9. 手前の海をクリアに、砂浜を明るくする。

円形補正と段階補正を使用

円形補正フィルタ

ぼかし量：96

明度：25

段階補正フィルタ

ぼかし量：75

明度：12

調整範囲



赤丸の部分は円形補正で調整する。
ここで重要なのが、写真の外まで
補正範囲を広げ、円形によるムラが
出ないようにする。

波打ち際から下を
段階補正で調整する。



JPEG 現像基本調整

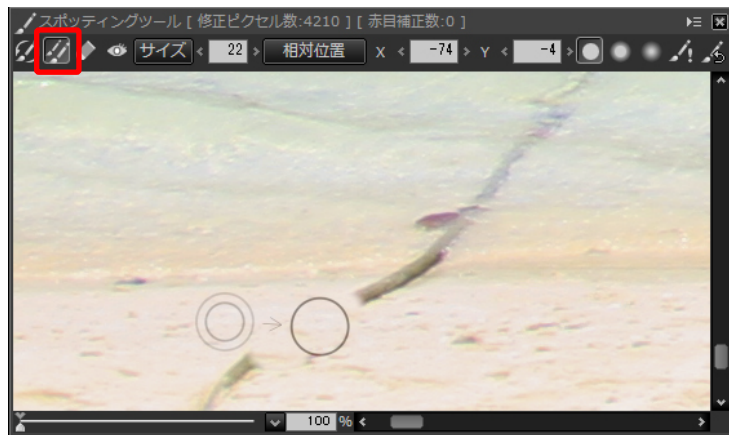
サンプル JPEG データをダウンロードして実際に体験できます。

10. 不要物を消す

最後の仕上げに不要物を消す



スポッティングツールを使用



今回は主に「コピー」を使用して消していきました。
図のように、二重丸の部分の色情報を持って来て
消していきます。

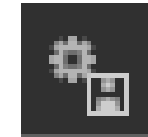
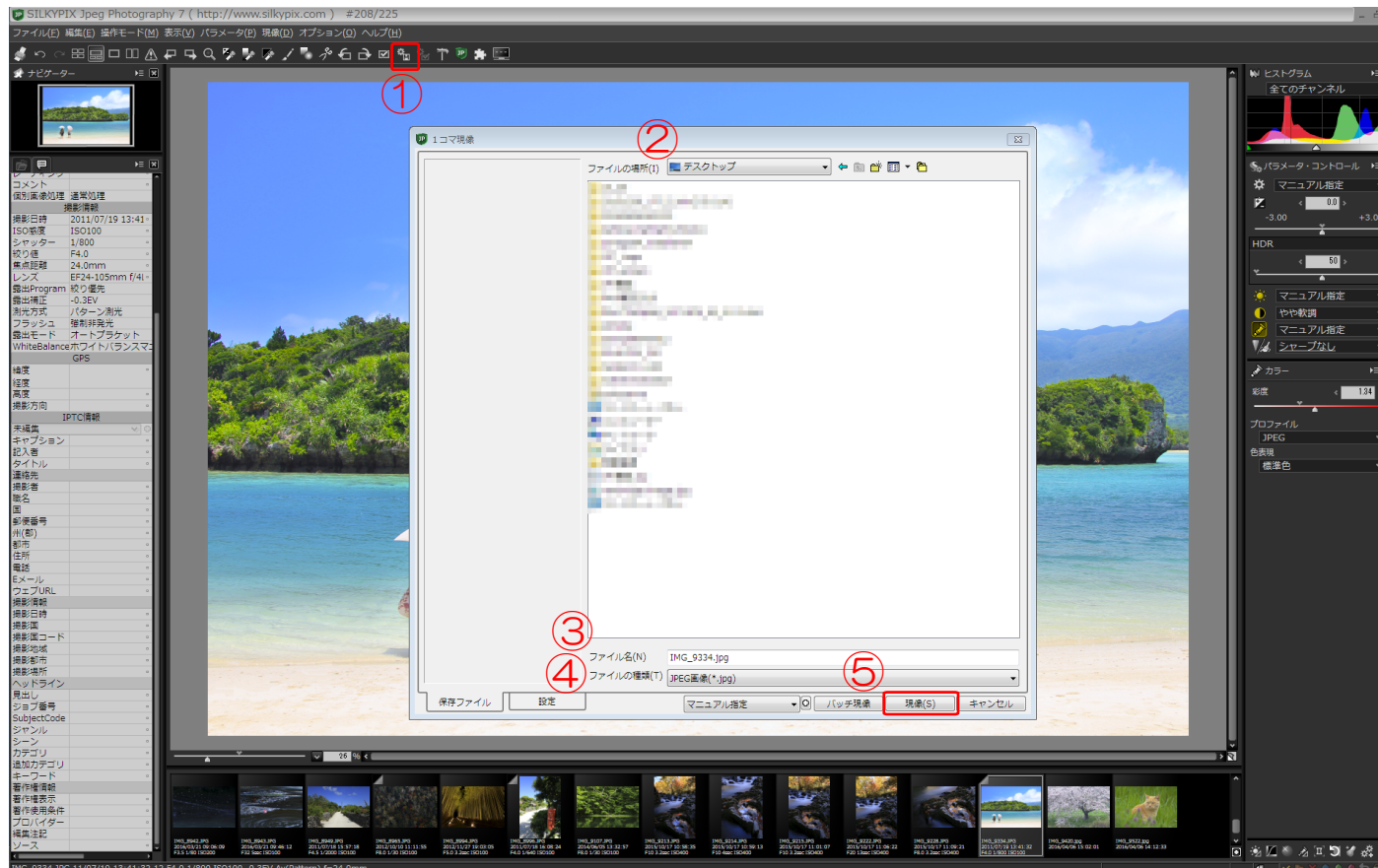
センサーのゴミのように小さいものは
「コピー」の隣にある「自動消去」を使用すると
ワンクリックで簡単に消す事ができます。



JPEG 現像基本調整

サンプル JPEG データをダウンロードして実際に体験できます。

11. 現像する



① 1 コマ現像ボタンを押すと保存のダイアログが表示されます。

② ファイルの保存場所を選択します。

③ ファイル名を変更する場合は入力します。

④ ファイルの種類は JPEG 画像です。

⑤ 現像ボタンを押すと指定した保存場所への保存が開始します。



現像とは？

SILKYPIX Jpeg Photography 7 では画像を調整し、自分のイメージに仕上げて保存するまでのことを「現像」と呼んでいます。

JPEG 現像基本調整

サンプル JPEG データをダウンロードして実際に体験できます。

12. 調整前／調整後

このような工程で『SILKYPIX Jpeg Photography 7』のメインビジュアルはできあがりました。
今回の調整で多く使用した「部分補正ツール」ですが、これが今回とても役立ちました。
写真をよりイメージに近づけさせてくれる機能ですので
是非皆さんも、ご自身のお写真で体験してみてください。

